

将来のごみの減量目標

加東市では、計画目標年度の平成34年度までに、1人1日あたりのごみ総排出量を138グラム減量することを目指します。

できることから実践してみませんか！

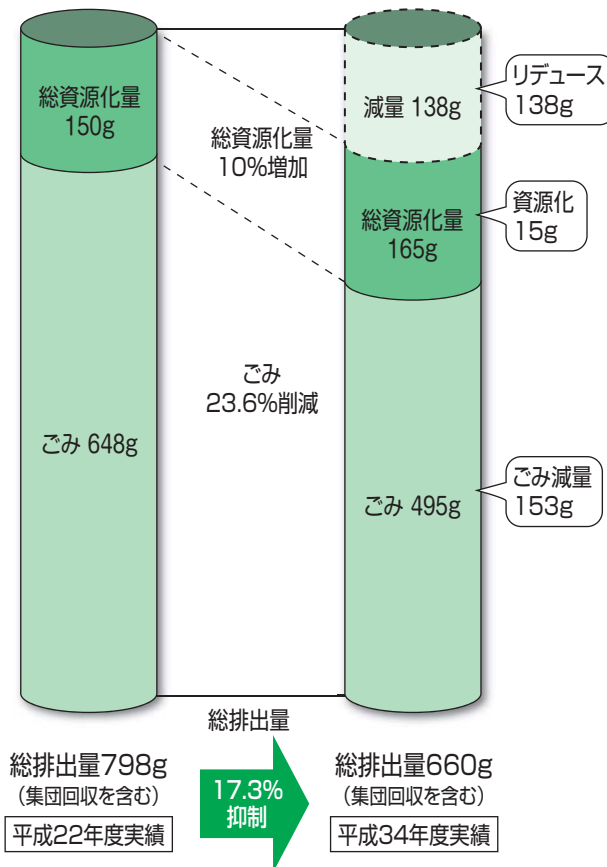
ごみ減量のためには・・・

ごみそのものを出さない取り組みが重要です！
資源化できるものは、資源化することも重要です！



「加東市ごみ処理基本計画」の詳細は、市ホームページからご覧いただけます。

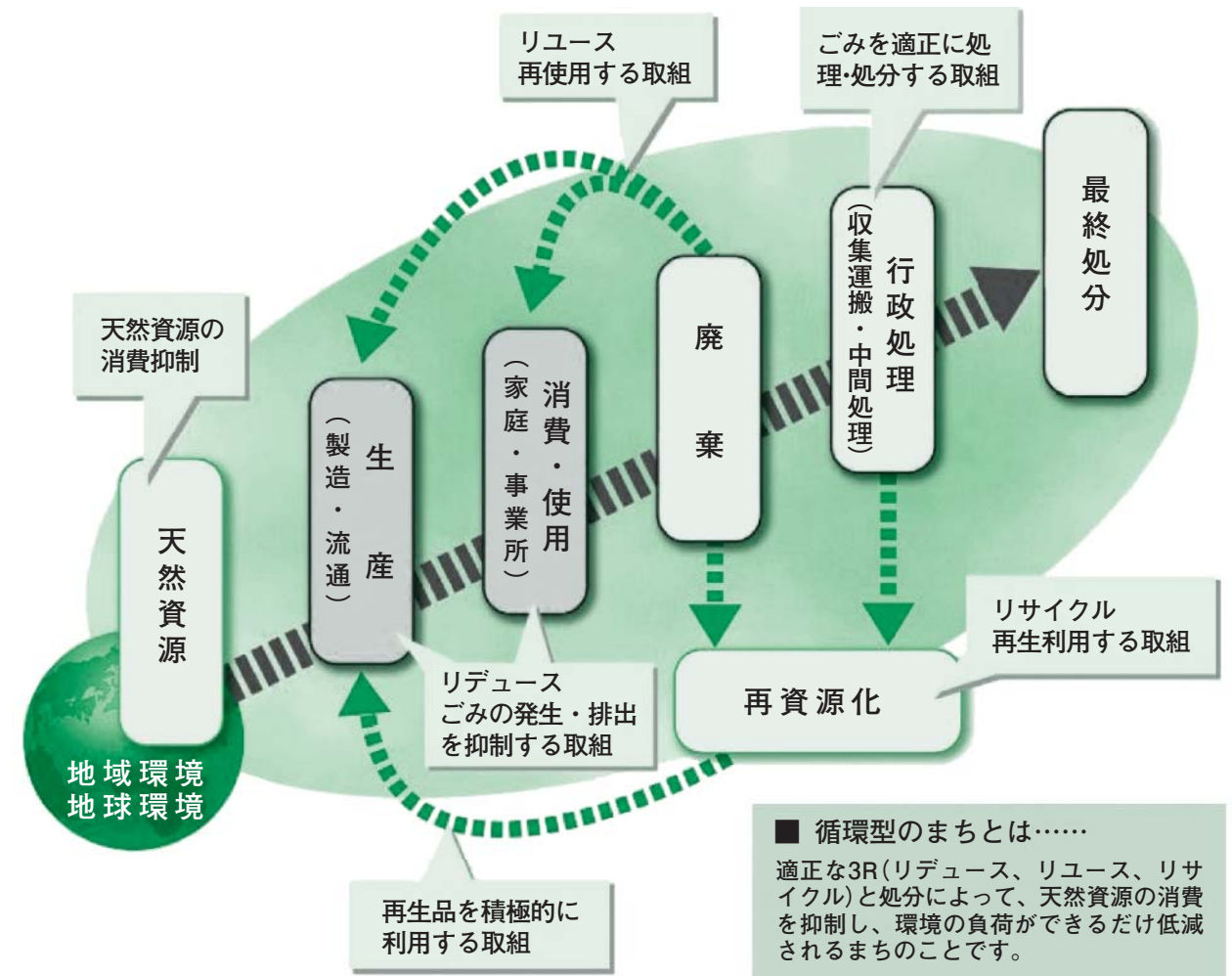
ごみ減量の数値目標(1人1日あたり)



「誇り高き“環境びと”が集うまちづくりを目指して」 ～すばらしい環境を次世代に引き継ぐために～

私たちは、大量生産、大量消費、大量廃棄の社会システムによって、豊かで便利な生活を実現してきました。しかし、一方では廃棄物の発生量の増加と質の多様化による廃棄物処理の問題や、自然環境の破壊、地球温暖化等が深刻化しています。

加東市では、豊かな自然を次世代に引き継ぐため、私たちの先人が培ってきた意識を継承し、市民、事業者、市が一体となって持続可能な循環型のまちづくりを目指します。



できることから取り組もう！ 無理せずみんなで3R活動！

リデュース (Reduce)

『ごみを減らそう！』

- ・生ごみの水切りをする。
- ・買い物にマイバッグを持参する。
- ・詰め替え用の商品を選ぶ。
- ・過度な包装は断る。
- ・生ごみを堆肥化する。



※「3R」とは、環境と経済が両立した循環型社会を築いていくためのキーワードです。



リユース (Reuse)

『使えるものは捨てずに使おう！』

- ・リターナブルびんの商品を選ぶ。
- ・バザー等を利用する。(古着や家具の再利用)
- ・ものを大事にする。



リサイクル (Recycle)

『資源として活用しよう！』

- ・紙ごみ(雑がみ)を資源ごみ集団回収運動へ出す。
- ・容器包装プラスチックや硬質プラスチックを資源として分別する。(汚れているものはきれいにしてから)

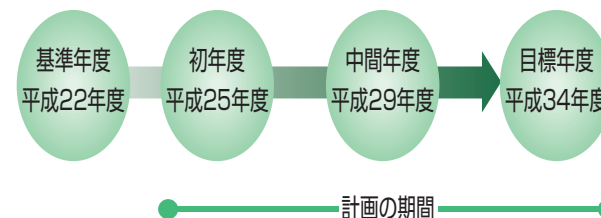


循環型社会への取り組み

加東市の今後10年間のごみ処理の基本方針となる「ごみ処理基本計画」が、今年度からスタートしました。循環型社会の実現を目指し、ごみ減量とリサイクルの具体的な数値目標を定めています。

目標達成には、ごみを出す市民、事業者一人ひとりの意識と行動が必要です。

基本計画の期間



循環型社会を実現するための役割

- 市民のみなさま
ごみを出さないライフスタイルへの転換
- 事業者のみなさま
事業活動に伴うごみ排出の抑制と資源の再利用
- 市
ごみの減量および資源化を促進するための情報提供や広報・啓発活動

3つの力の相乗効果で、
豊かな自然を次世代に引き継ごう！